

平成 27 年 10 月 2 日

亀岡市議会議長 西口 純生 様

発議者 堤 松男

湊 泰孝

藤本 弘

意見書案の提出について

別紙意見書案を当市議会の議決をもって、それぞれの宛先に提出されたく、亀岡市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により提出します。

北陸新幹線小浜ルート早期整備を求める意見書（案）

北陸新幹線は、日本海国土軸を形成し、東京・大阪間の多重化による国土強靱化とともに、人口減少時代における沿線地域の振興・発展を図るため、最優先に整備されるべき国家プロジェクトであると認識しています。

とりわけ昭和48年に決定された整備計画に位置付けられている「小浜ルート」は、北陸地域をはじめ沿線地域と関西圏との時間距離を大幅に短縮し、産業・経済や地域文化の振興に大きく貢献するものであり、最大の時間短縮効果を生む福井県小浜市を経過地とし、京都府口丹波地域を経て大阪に至る「小浜ルート」の整備建設の一日も早い決定が待たれるところであります。

また、災害などの緊急時における交通を確保するためには、太平洋側中心の高速交通網だけでなく、東京～大阪間の新たな交通体系の中軸を日本海側に形成し、東海道新幹線の代替補完機能を優先課題として構築する必要があります。

長野～金沢間が本年3月に開業し、この度、政府・与党の申し合わせにおいて金沢・敦賀間に関しても3年前倒しによる開業を目指すことが決定しましたが、このことは、今後の北陸新幹線整備計画の進展にとって大きな前進であります。

つきましては、敦賀までの完成・開業の3年前倒しが決まった今、日本経済を元気にするとともに、国土強靱化を加速させ、大規模災害時における東海道新幹線の代替補完機能を最大限に発揮し得る「小浜ルート」の整備促進に関する議論を深め、これを早急に実現することが必要です。

このことから次の項目を強く要請するものであります。

記

敦賀以西については、昭和48年に決定された整備計画どおり「小浜市附近」を経過地とし、京都府口丹波地域を経て大阪に至る「小浜ルート」の駅・ルートを一日も早く明確化するとともに、北陸新幹線敦賀～大阪間の全線フル規格による早期整備を促進し、その開業年度を明らかにすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年10月2日

衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
総務大臣
財務大臣
国土交通大臣
内閣官房長官

} 宛

亀岡市議会議長 西口 純生